

独立行政法人国際交流基金 契約監視委員会（平成24年度第3回）

議 事 要 旨

- 1 日時：平成25年3月26日（火）14：00-16：00
- 2 場所：独立行政法人国際交流基金 第1セミナー室（9階）
- 3 出席者：
 - （1）委員
碓井光明委員長、宮本和之委員、渡邊一弘委員
 - （2）外務省
米谷広報文化外交戦略課長、若杉同予算班長
 - （3）国際交流基金
安藤理事長、田口理事、柄総務部長、下山経理部長、大嶋監査室長、正野会計課長、審議案件担当者
- 4 主要議事：
 - （1）再委託案件・一者応札・応募案件について（報告）
 - （2）一者応札・応募の改善に向けた取り組み状況について（報告）
 - （3）抽出案件の審議
- 5 主要議事概要：
 - （1）**再委託案件・一者応札・応募案件について（報告）**
今次委員会の点検対象となる契約のうち、再委託及び一者応札・応募案件の状況について事務局より報告。
 - （2）**一者応札・応募の改善に向けた取り組み状況について（報告）**
 - ア 第2回委員会で点検を行った連続一者応札・応募案件6件中5件は、来年度分の入札においていずれも複数応札・応募があった旨事務局より報告。
 - イ 平成25年度より、一者応札・応募の改善措置として、入札予定案件のWEB掲載、入札書式の改正及び入札参加者向け事前チェックリストの導入を行う旨事務局より報告。委員：入札予定の公表により公告期間が長くなる分、談合しやすい土壌を作ることにはならないか。

基金：そうした懸念は現在のところないが、十分注意してゆく。

(3) 個別案件の審議（案件一覧は別紙の通り）

ア 「ポプラディアネット年間購読契約（海外拠点用）」

委員：具体的な利用方法は。また、ライセンス数（18）は適当であったか。

基金：利用方法としては、各海外拠点で CDR をインストールするなどしてポプラ社が運営する WEB サイトにアクセスし、閲覧が可能となる方式。

ライセンス数に関しては、1 名が利用している間は他の人は閲覧できない設定のため、海外拠点において、図書館での利用の他に日本語講座の講師や受講生等関係者が同時に利用する場合も想定し、本資料を希望した拠点に 2 ライセンスずつ提供した。

委員：競争契約への移行を可能とする理由は。

基金：一般書店でも本資料の取扱いが可能な見込みとなったため。

委員：「ポプラディア」を選定した理由は。

基金：基金の関西国際センターで「ポプラディア」が研修生に活用されていた実績を踏まえ、漢字にルビがふられ、文章が平易といった本資料の特徴から、日本語学習者や日本語教師等の日本理解促進の一助となるものと選定した。

イ 「TVドラマ『カネシヨ』(ME版・英語台本)共同制作及び番組提供に関する合意書」

委員：本契約のように、投資した制作費をその後の放映権料の割引により回収する「リクープ方式」は他の契約にも適用できるものか。

基金：アニメーション番組でスペイン語吹き替え経費を基金が負担し、放映権料の割引により当該経費を回収した事例がある通り、既に適用済みか、あるいは目下、更に別の言語吹替版作成でテレビドラマ、アニメ番組に適用しようとしている。

委員：今回 ME 版の制作を行うのは誰か。

基金：NHK 側の意向で、著作権管理の観点から NHK グループ内の事業者（財団法人 NHK インターナショナル）が制作した。

委員：本件は、マクロ的な視点で契約締結について検討されている点が非常に評価できる。

ウ 「JAMCOライブラリー-TBS国際番組の放映権料及び素材作成費に関する契約」(単価契約)

委員：今回、本 TBS 国際番組と同様に、ブルガリアから放映要望のあった日本テレビの番組の交渉が成立しなかった理由は。

基金：同社からは契約や業務形態の変更について理解が得られなかった。

エ 「舞台公演「アンドロイド・ロボット演劇北米ツアー」共催契約」

委員：ツアーの公演収入は基金の収入となるのか。

基金：基金でなく公演を行う劇場の収入として諸経費に充てる仕組みである。

委員：今回の公演は満席だったとのことであるが、もし赤字となったら基金に責任は生じるのか。

基金：そのような状況が生じても、契約上基金に責任は生じない。

委員：基金が負担する契約金額は上限金額であるか。

基金：然り。本額を上限として精算を行う。

委員：合意書を見るとツアーは契約相手方であるジャパンソサエティが主催しているようだがこの点如何。

基金：本ツアーは、実施経緯、企画・予算面から基金の関与する部分が大きく実際には共催という位置づけであり、そのように広報も行っている。

オ 「アジア太平洋地域及び北米地域との青少年交流（キズナ強化プロジェクト）事業実施業務委託契約（短期招へい追加部分）」

委員：本件は追加分の契約ということであるが、予定価格算定にあたっては先行契約内容を精査したか。

基金：然り。精査の上、本件の予定価格を算定した。

委員：本事業に基金が関与する意味は。キズナプロジェクトを基金に委託している日米教育委員会から本件契約相手方に直接本件業務を委託することはできなかったか。

基金：日米教育委員会から基金が受託した本件招へい事業は、招へい期間 14 日間のうち、被災地滞在 6 日間、その他東京等滞在 8 日間となっている。前者関連部分を基金から本件契約相手方に業務委託し、後者関連部分については基金自ら企画・実施している。

また、基金が受託している米国分派遣・招へい事業全体において、招へい者の選考や派遣者の米国内での受入手配といった業務を基金が関係団体と連携しながら企画・実施している。

なお、被災地滞在部分を本件契約相手方に委託した理由は、被災地側から、米国以外も含むキズナプロジェクト全体への対応として窓口を一本化してほしいと強い要請があったためと聞いている。

カ 「企画展「近代日本画と工芸の流れ 1868-1945」国際輸送業務委託契約」

委員：業者の指名に先立ち、指名を希望する業者を募る方法を検討したことはないか。

基金：同等規模の輸送実績を有する業者について調査を行っているが、実績面から今回指名の 2 社となった。

委員：出展者により、「当該業者を指名する」とした文書と「当該業者が望ましい」とした文書が提出されているがその違いは。

基金：美術館により方針に違いがあるもの。

美術品を扱う輸送業者は全国で4社程度あるが、今回の2社は長年の実績を有することから美術館関係者から非常に信頼を得ている。

委員：出展者ということで輸送業者を指定できるものなのか。美術品という特殊性によるものか。

基金：展覧会のために作品を借用するには、出品する美術館側の意向に従う必要がある。

委員：経済効率だけでなく、業務の質も重視した調達ということか。

基金：基金としては、業務の質とともに経済効率も確保するよう努力している。

キ 「ファイル共有システム更新業務委託契約」

委員：低落札率となった理由は。

基金：契約相手方の営業努力によるものかと思料。

委員：入札説明会を開催していれば、参加者数は改善し得たであろうか。

基金：入札説明会の場で出席者からの技術的質問に対して、職員が適切に即答することは難しい。関心のある事業者に対し書類を交付し、各事業者から照会のあった質問については、書類を交付した事業者全員に対し各質疑内容を一斉に回答する方法を取っており、この対応は入札説明会の開催と特に相違はないと思料。

委員：本件と同時に入札した保守業務の方で、当該業務従事者が午前9時から午後6時まで基金に常駐し、各種作業を遂行することとなっている。保守契約金額内で当該業務を遂行することに特に賃金面での問題はないという理解でよいか。この点配慮している法人もあると聞く。

基金：問題はないと認識。

ク 「国際交流基金ウェブサイトアクセシビリティ方針策定及びウェブサイト改訂に関わる支援業務委託契約」

委員：企画競争とした理由は。

基金：総合評価方式では価格と技術について総合的な評価を行うが、本件調達においては特に技術を重視したことに加え、事業者側からの創意工夫や新しい提案内容を引き出す意図で企画競争とした。

委員：説明会参加者は7社だったが、実際に提案書を提出したのが2社となった理由は。

基金：本件業務に必要な実績として、改正JIS規格への対応実績とウェブサイトのリニューアルに関連した実績をあげたが、両方の実績を有する事業者が少なかった結果、応募者が絞られたものかと思料。

委員：JIS規格への対応という技術部分とコンテンツやインターフェイスの見直しといった中身部分と分けることにより調達しやすくないか。

基金：両者は技術と内容というようには必ずしも切り分けられず、双方を統一した形で進めることにより全体的として完成するものであり、経済面で

も統一して遂行することにより効率性が高まる。

委員：基金において、本件のように年度ごとに業務が異なる複数年度契約は他にもあるか。

基金：事業に関する契約の場合、契約期間は通常年度内に収まる範囲で締結している。システム関連等の案件の場合には、業務の性質に応じ、本件のように年度を超えて契約締結する例は他にもある。

6 その他

平成25年度の契約監視委員会は平成24年度同様に3回（7月、12月、3月）開催する予定。

以上

契約監視委員会(平成24年度第3回) 案件一覧

No.	契約名称及び内容	契約の相手方	契約方法	契約金額
1	ポプラディアネット年間購読契約(海外拠点用)	株式会社ポプラ社	随意契約	1,890,000
2	TVドラマ『カーネーション』(ME版及び英語台本)共同制作及び番組提供契約	日本放送協会	随意契約	25,213,230
3	JAMCO ライブラリーTBS 国際番組の放映権料及び素材作成費に関する契約	株式会社 TBS テレビ	随意契約	(単価契約)
4	舞台公演「アンドロイド・ロボット演劇北米ツアー」共催契約	ジャパン・ソサエティ	随意契約	US\$ 217,947.00
5	アジア太平洋地域及び北米地域との青少年交流(キズナ強化プロジェクト)事業実施業務委託契約(短期招聘追加分)	財団法人日本国際協力センター	随意契約	32,067,340
6	企画展「近代日本画と工芸の流れ 1868-1945」国際輸送業務委託契約	ヤマトロジスティクス株式会社	指名競争	39,871,108
	ファイル共有システム更新業務委託契約	株式会社アークシステム	一般競争	2,835,000
	国際交流基金ウェブサイトアクセシビリティ方針策定及びウェブサイト改訂に関わる支援業務委託契約	アライド・ブレインズ株式会社	企画競争	8,967,420